

地球科学輻合ゼミナール

(2012年度 後期 第3回)のご案内

高速マスマーブメントの力学

福岡 浩

京都大学防災研究所 斜面災害研究センター

強震時や豪雨時にしばしば斜面で各種のマスマーブメント(ランドスライド)が発生する。非常に高速で運動する場合もあり、人命や財産に影響を及ぼす。宇治キャンパスにある防災研究所では観測だけでなくメカニズムの研究に取り組み、各種の試験機を開発してきた。特にドーナツ状のせん断箱に地震波形を入力できるリングせん断試験機を開発した後、地震時、豪雨時のすべり面(せん断面)の状態を再現することができるようになり、突然強度がほぼゼロになってしまう現象「すべり面液状化」を発見した。マスマーブメントの力学の進展と防災との関係を紹介し、また室内実験において意外な発見がしばしば得られる面白さについても述べる。

10月24日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室